



2022年度予算要求の取組!

2022年度予算要求の取組

7月9日(金) 予算要求の分会ヒアリングが行われた。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染予防の観点から、市労連会館5階会議室にて行われた。

分会ヒアリングでは、これからの川崎市における廃棄物事業のあり方等を見据えて話し合い、公共サービスの質と量の維持、労働者の労働環境の確保、職員配置計画策定に向けた人員要求等の政策的観点から要求を行っていく。

支部としての主な要求は左記の通りである。
〈業務量に見合った適正な人員配置〉

各生活環境事業所の推進担当職員の増員、川崎生活環境事業所のEV車両の定数配置、廃棄物政策担当への一般事務職員の配置、軽ダンプの配置の増員・増車・定数配置、浮島埋立事業所の焼却灰の安全性・土壌調査・水質調査に伴う、保管灰埋立終了後の人員配置の継続

〈会計年度任用職員の労働条件の確保〉
会計年度任用職員への貸与・支給品等

〈職場環境改善〉
中原生活環境事業所のストックヤードの拡張、入江崎クリーンセンターの補修・延命化工事・正門のレールの沈降調査、

宮前生活環境事業所の駐車スペースの区画線引き、コンセント数と電気容量の改修、各生活環境事業所の駐車用歯止めへの購入・空調設備及びトイレの改修・LED照明への更新工事、堤根処理センターの閉鎖に向けた予算項目の洗い出し、川崎生活環境事業所のモニター更新等

〈労働安全衛生〉

健康診断の実施時期の拡充、保護具・被服貸与の予算措置、浮島処理センターの構内道路の穴、ひび割れの調査及び補修工事、女性現業職員のための休憩スペース・洗身設備等

〈機動力の増強・整備〉

車検対策および繁忙期対策のための予備車の配置、災害時の廃棄物の受入等に必要浮島処理センターの油圧ショベル用はさみ機とアタッチメントの購入

〈事務・事業執行のための予算の確保〉

時間外予算の確保、大判用紙印刷用プリンター等の事務機器及び備品・業務用工具の確保、入江崎クリーンセンターの技能職・業務職員用のパソコンの購入



川崎市職員労働組合
清掃支部
発行
川崎市川崎区東田町5-1
市労連会館4階
電話 044(222)5906
発行責任者 渋谷 勝美
編集責任者 清水 麻之



清掃支部ホームページ
QRコード



熱中症への警戒

7月8日(木) 13:00〜多摩生活環境事業所にて、職場安全パトロール及び第4回廃棄物部会報告を開催した。

安全パトロールでは委託業者自走事故現場、接触事故現場、狭所の坂道等を視察し、意見交換が行われた。

廃棄物部会については、公務災害1件、車両事故4件の報告が行われた。また、新型コロナウイルス感染症に伴う熱中症対策や熱中症警戒アラートの情報周知といった熱中症対策に関する説明も行われ、安全意識の強化や注意喚起をより一層強めた。

今後も気温が上がっていく事が予想されるため、引き続き熱中症への警戒が必要である。

支部費の見直しについて

東田ビルから市労連会館4階に支部室の移転による賃貸料の縮減等を踏まえて、支部費について再考し、8月5日(木)に開催した第9回支部中央委員会にて再提案した。

見直した内容については左記の表の通りとし、支部組合員は支部費として表の金額+200円(一律)を納め、再任用組合員については+200円を免除する。

今後の流れとして、第10回支部中央委員会、第61回支部定期大会にて併せて確認を行い、定期大会議案承認後に徴収する金額を変更していく。

第61回支部定期大会開催
2021年10月2日(土)
9時～
市労連会館5階 講堂及び
会議室
※ 感染防止の観点から、
書面開催となる場合があります

年齢	支部費
30歳未満	800円
30歳以上 45歳以下	1,200円
46歳以上	1,800円
再任用	900円

隣にいる仲間を想う

在日外国人と日本人は国籍・

民族を超えていけるか

第34回 林慶一

●期待していいのだろうか
社会人二年目の受難

入社して一年が経とうと
してしまいました。仕事は相変
わらず忙しいままでした
が、とにかく夢中で走って
いるうちに画像修正機器メ
インオペレータで主任の大
林さんの補佐を受け持つよ
うになりました。ときには
大林さんに代わり修正作業
の主担当になることもあり
ました。画像修正の機械を
扱えるのは数人だけで、シ
ステム課では大林さんと佐
賀係長、そして石田課長だ
けでしたが、ヨンスもひと
通りの操作はできるようと
なり、着実に経験を積んで
いきました。

しかしヨンスは半年ほど
前の避難訓練のとき、関東
大震災直後の差別的なデマ
によって多くの朝鮮人・中
国人が殺されてしまったと
いう話を自分が直接できな
かったことを未だに後悔し
ていて、どうにも気持ち
スッキリしないままです
いで主任に上られるヤツは

結構いる」と続け、「自分が
まだいるうちにキムしゃん
を推しておく」と言ってく
れました。急な展開にヨ
ンスは、「オレがメイン？」と、
驚きと喜びで自分でもわか
るほどニヤけた表情になっ
ていました。ヨンスの所属
するシステム課における
「メイン」というのは、画
像修正処理機器の操作をメ
インで受け持つオペレータ
のことで、メインになれば
昇進は確実となり、主任か
ら係長、やがては課長や部
長などの管理職への道も夢
ではありません。ヨンスは
ゆるむ表情をあわてて引き
締め、大林さんがいなくな
ると寂しいです、などと、
取って付けたように言いま
した。大林さんは、「来週か
らオレの担当の仕事を順次
引き継いでいくからよろし
く。頑張るな」とヨンス
の肩をポンと叩いて職場に
戻っていききました。自分
を可愛がってくれている大
林さんがいなくなる寂しさを
感じながらも、「オレもとう
とう一人前だ」と、こみあ
げてくる嬉しさとニヤけた
表情を押し戻すのに結構な
時間がかかりました。

週が明け、大林さんから

の引き継ぎを受けながら仕
事を進めていると、石田制
作課長から呼ばれました。
思わず大林さんを見ました
が、ガッツポーズで返され
ました。しかしこのときヨ
ンスは、思わぬどんでん返
しが後で待ち受けていると
は思ってもみませんでした
た。(つづく)

直営をやるぞ

仲間達 (364)

分会だより

入江崎分会

No.207

川崎市では、2050年
の脱炭素社会の実現に向
け、昨年「かわさきカーボ
ンチャレンジ2050」を
策定し、中間目標として2
030年までの10年間
に約350万t・CO2削
減に挑戦している。

入江崎クリーンセンタ
ーでは、昨年からの廃棄物処
理に係る業務研修におい
て、「少数職場の脱炭素社
会に向けた取組報告」をテ
ーマに、浮島埋立事業所と



加瀬クリーンセンターと
もに取組を進めているとこ
ろです。

各職場において紙の削
減、ゴミの分別・削減、エ
ネルギー消費量削減、職員
の意識向上(マイボトル・
マイバッグ使用の推進・エ
コドライブの呼びかけ)な
どを行ってきました。入江
崎の紙使用量削減について
は、回覧文書を電子化した
ブレット端末に換え昨年度
実績で142件分、154
8枚を削減することができ
た。さらに今年7月からは
試行的に作業日誌・点検表・
機器の運転日誌の3種類を
電子化し更なる削減に取組
んでいます。機器の運転に
おいても無駄に電気・ガス・
水の使用量を増やさないと
いう職員一丸となって努力し
ています。